

2025年12月8日開催
2026年3月期 第2四半期決算
機関投資家様向け説明会 質疑応答サマリー

[Q1]: 営業利益の減少要因について、為替変動と在庫評価減の内容・金額を知りたい。

[A1]: 為替影響は、仕入時の円安から売上計上時の円高への推移によるもので、約6億円のマイナス。在庫評価減は定期的な見直しの結果、販売が困難となった在庫を対象に約5~6億円を計上。

[Q2]: 円安が続く場合、業績への影響はどのように考えればよいか。

[A2]: 円安が進めば、ドル建て取引においてプラス方向に働く。

[Q3]: 在庫評価減の対象は一律なのか。

[A3]: 一律ではなく、販売が困難となった在庫を個別に精査し評価減を実施。

[Q4]: ソリューション事業における M&A 効果の内訳を知りたい。

[A4]: 金額は非公表ではあるが、萩原エンジニアリングにおいて、単独での追加受注や萩原テクノソリューションズとの車載領域でのシナジー案件があったこと、BellaDati 社の売上寄与があったことがあげられる。

[Q5]: 下期の増益要因と計画どおりの進捗を知りたい。

[A5]: 新車種立ち上げは計画どおり。増益要因は、ソリューション領域の顧客需要の回復、M&Aした企業の寄与、及び市場の動きによるプラス要素。

[Q6]: 佐鳥電機との経営統合の経緯と判断理由を知りたい。

[A6]: 両社は過去から NEC 販売特約店として関係があり、今年に入り具体的な協議を開始。課題感の共有と将来の方向性が一致したことが決定的要因。

[Q7]: 今後の統合スケジュールは。

[A7]: 12月11日の臨時株主総会で承認を経て、2026年3月27日が両社の売買最終日、2026年3月30日に上場廃止し、2026年4月1日に新会社「MIRAINIホールディングス」が東証・名証に上場する。

以上